

グリーンな未来と暮らしを支えるLPガス ～地球との共生を目指して～

日本LPガス協会

JLPGA Japan LP Gas Association

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-14-1 (郵政福祉琴平ビル4F)

電話 03-3503-5741 HP : <https://www.j-lpgas.gr.jp>



専務理事 縄田 俊之

■日本LPガス協会は、1963年6月にLPガスの生産・輸入に係わる35社によって設立された「LPガス生産輸入懇話会」としてスタートし、1969年10月に「日本LPガス協会」に改称されて昨年6月に60周年を迎えました。

■日本のLPガス産業は創成以来70年以上が経過し、現在の需要規模は年間13百万トン程度です。現時点でLPガス消費家庭は24百万世帯に及び、また運輸部門では大半のタクシーがLPガスを燃料としており、都市ガスの原料構成においても約4%がLPガスにより賄われています。さらに、工業用エネルギー、石油化学工場における原・燃料など産業用分野でも使用され、日本におけるLPガスは現在、一次エネルギーの約3%を担う重要なエネルギーとしての地位を占めています。

■日本LPガス協会はLPガス輸入及び生産をつかさどる団体として、クリーンで重要なエネルギーであるLPガスの米国や中東、カナダ、オーストラリア等からの安定供給に全力をあげるとともに、需要開拓の推進、流通の合理化、大規模災害に備えたレジリエンス対応力の強化、保安の確保、広報活動の展開等についても積極的な努力を続けています。

■さて、2020年10月の菅首相のカーボンニュートラル宣言を受け、我が国のエネルギー政策は脱炭素に向けて大きく舵が切られることになり、LPガスを含めた化石燃料を取り巻く環境は従来に増して厳しくなっています。

■こうした中、2021年10月には日本LPガス協会の常任理事会社5社で構成される「一般社団法人日本グリーンLPガス推進協議会」を立ち上げ、当協議会を推進母体とする形で北九州市立大学とのLPガス合成技術開発の共同研究がスタートしました。さらに2022年2月には国立研究開発法人新エネルギー・

産業技術総合開発機構(NEDO)事業による「カーボンリサイクルLPガス合成技術の研究開発」にも採択され、非化石燃料由来のグリーンLPガス製造技術開発に向けた取組みが本格稼働することとなりました。

■当協会関係のみならず、国内ではすでに全部で6つのグリーンLPガスの研究開発が進められており、将来的なロードマップ作りを始めとする共通の課題を官民を挙げて検討し共有することを目的として、2022年7月には経済産業省に協力を仰ぎながら日本LPガス協会が中心となって「グリーンLPガス推進官民検討会」を立ち上げました。

■今後は、社会実装に向けたLPガス業界としてのマイルストーン作り、水素・CO₂の将来的な調達方法、トランジション期間における省エネ機器の普及促進、新たな品質基準作り、保安の確保、非化石燃料としての第三者認定等の諸課題に取り組んでまいります。

■おわりに

当協会では毎年、LPガス製造事業者及び同消費施設設置事業者等を対象として、保安啓発を目的とした「LPガス保安に関する講演会」を開催しており、昨年度は第50回という節目の回を迎えました。その第50回講演会において、一般社団法人日本エルピーガスプラント協会・検査事業者委員会・検査問題調査対策部会の田中 部会長と斎藤 委員より「保守検査時の不具合収集活動について」と題しご講演を賜りました。参加者は各自治体の消防・保安関係の方々を含め、総計で約725名にのぼり、お陰様で成功裏に終わることが出来ました。この場をお借りいたしまして、関係者の方々に厚く御礼申し上げます。



保安講習会風景



入居ビル外観